

製品取扱説明書

【用途】コンクリート・モルタル、ブロック等の劣化防止・白華防止表層保護、防湿、防水に用いる。
特に養生の心配のない施工部位や養生の出来ない部位。

1. 一般名 無機質浸透性2層構造防水保護材
2. 規格 社内規格
3. 特徴 ハイブリッド化したSKY-SVLは、短い工期や養生が困難な躯体、厨房内の漏水。トンネルや地下、密閉した場所では臭気のある材料は使用できず施工には多くの条件が課せられます。

SKY-SVLは特殊な使用方法により、クラックや隙間から浸透させ吸水性の低い磁器タイル等以外の無機質部分すべてを吸水防止処理させます。1液化して施工でき工程を簡素化し全面に塗布だけの施工で工期短縮や重量物の下脚部分の防水を可能にしています。

※コンクリート床(下階に駐車場など)、床板などの漏水にSKY-G1や高炉スラグなどの複合法による漏水補修に最適。

GHSラベル要素
絵表示又はシンボル:



4. 一般性状	
項目	内容
主成分	高反応性無機触媒+変成シリコーン アルカリ金属塩+珪酸化合物
容姿	1液性
荷姿	20kg・2kg入り
色相	乳濁液
光沢	なし
比重	1.01~1.12 (20℃)
粘度	5mPa・s 以下
溶媒	水

6. 施工上の注意

1. 必ず良く振ってから使用する。
2. SKY-SVLは、塗布後の表面が元の色よりやや濃い色になる場合がある。
3. 施工場所以外にSKY-SVLが付着した部分はすぐに濡れたウエス等で拭き取って下さい。
4. 熱源や直射日光で施工面が50℃以上の場合、たっぷり水をかけて冷やすか日陰部分から塗布して下さい。
5. 冬、施工時が常温であっても夜間に5℃若しくはマイナスになる場合は強制乾燥を行って下さい。
6. 塗布面のオイル・グリース・離型剤等を取り除く事ができない場合はその周辺より浸透させてください。
7. 塗布方法は特に選びません。躯体に充分含浸させることが重要です。
8. 開封後は速やかに使い切ってください。開封後の残剤は容器中の空気と化学反応を起こすので使い切ってください。短期的保存の場合は水分・ゴミ等が混入しない様にし、小さい容器に移し替え内部の空気を少なくしフタを密封、子供の手の届かない所に保管して下さい。また特に使用残分を元の容器に戻さないで下さい。
9. 塗布3日以降に散水し、施工面が吸水する場合は塗布量不足ですから、再度塗布して下さい。
10. 万一、目に入った場合は大量の水で洗い、医師に相談するようお願い致します。
11. 0℃以下での保存及び施工は行わないで下さい。
12. 凍結した材料の使用は行わないで下さい。

株式会社ハイドロ・スカイ

製造・販売元 〒130-0002 東京都墨田区業平4-11-9



URL://www.hydro-sky.co.jp

E-mail:hydro@hydro-sky.co.jp

TEL.03-5637-8834 FAX.03-5637-8874

HYDROSKY SKY-CVL



5. 塗装基準

項目	内容
洗浄	新設、補修工事とも塗布面の洗浄を行う。
養生	施工面以外、飛散の恐れのある所は、基本的に養生をする。特にガラス、アルミ、埴載等に付着しない様、出来る範囲で行う。
塗布	下地コンクリートは十分乾燥させてから塗布が効果的。一般的な塗布量は0.12~0.25kg/m ² だが防水目的の場合はこの限りではない。ローラー、ハケ、噴霧器で塗布する。施工面にグリースや油、塗料の一部などが固着していても機能上問題がなければ塗布可能。
乾燥	乾燥養生が長い程、強度が増す。

7. 関連法則

危険物表示	該当無し
溶剤区分	無機溶剤
有害物質表示	該当無し
劇物表示	非該当

8. 使用上の注意 [警告]

特別危険性はなく施工上の注意を厳守。

9. F☆☆☆☆について

「フォスター」の表示は、塗料や内装材、建材で、「ホルムアルデヒド」の放散量の性能区分を示す為に新たに表示する義務が定められたものです。F☆☆☆☆(Fフォスター)は、JIS工場で生産されるJIS製品に表示することが義務づけられているホルムアルデヒド等級を示すマークです。ハイドロ・スカイは塗料ではなく、水性無機化合物の劣化保護及び防水剤です。有害化学物質に指定されたシロアリ駆除剤のクロルピリホス及び、シックハウス症候群に関するホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・エチルベンゼン・スチレンの1+5種類を有害規制薬物に指定。従って有機化合物であるフォルムアルデヒドは含まれていないためF☆☆☆☆に該当しません。

10. VOCについて

VOCとは、Volatile Organic Compoundsの略で揮発性有機化合物のことをいいます。WHOでは大気中に気体で存在する有機化合物のうち沸点が50℃~260℃の物質の総称と定義されています。上記有機溶剤に関しては非該当です。